

婦団連通信

Fudanren newsletter

第 15 号

2026 年 1 月 1 日

日本婦人団体連合会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-11-9-303

TEL : 03-3401-6147 FAX : 03-5474-5585

URL : <https://fudanren.jp>

女性の共同を

さらに広げる2026年に



婦団連通信の読者の皆様、

明けましておめでとうございます。

2025年、婦団連は、CEDAW 勧告（2024年10月）をいかして、ジェンダー平等実現を求める運動をすすめてきました。2026年は、その取り組みをさらに強めていくことが求められています。

◆高市自維政権の危険な本質

昨年10月に発足した高市自民・維新政権は、戦後日本国憲法のもとで培ってきた平和、民主主義を破壊しかねない、きわめて危険な政権です。「安保3文書」の前倒し改定により非核三原則を見直し、大軍拡をさらに推し進めようとしています。

防衛費のGDP比2%への増額の2年前倒し、「台湾有事」を想定した南西諸島での自衛隊の体制強化やミサイル配備、全国各地で基地の強化と弾薬庫建設等「戦争する国づくり」が目に見える形で進められています。

「台湾有事は存立危機事態」との高市発言により、日中関係の緊張が高まっています。さらに、明文改憲にまで踏み出そうとしています。

◆国民要求と大きな乖離

物価高騰が続き、国民が困窮するもとで、「OTC類似薬」の保険適用除外、医療費4兆円削減をはじめとする社会保障の大改悪、労働基準法の解体などが狙われています。

選択的夫婦別姓制度実現を求める声に背を向け、通常国会において、「旧姓の通称使用」の法制化を強引にすすめるようとしています。こうした政策は、国民のいのち、暮らし、平和、人権守れの要求と大きく乖離するものです。

高市自維政権の危険な策動、極右・排外主義の台頭を許さず、憲法と女性差別撤廃条約にもとづく、平和とジェンダー平等をめざして、女性の共同をさらに広げる1年としていきましよう。

女性に対する暴力撤廃国際デー

11月25日、婦団連は小雨のなかイスラエル大使館前で10団体27人が参加し、「戦争こそ最大の暴力」「イスラエルは停戦合意に基づきガザへの攻撃を止めよ」などと、リレートークしました。日本共産党参議院議員吉良佳子さんも駆けつけ、訴えました。



賛助会員のお願い

婦団連の活動を維持・発展させるため、賛助会員としてご支援・ご協力くださいますようお願いいたします。賛助会費は月1口1000円（年会費1万2千円）から申し受け、賛助会員のみなさまには「婦団連通信」「女性手帳」、催しや出版物のご案内等をお送りいたします。

申し込みはFAX等で